

宇都宮市における中国配車アプリの導入 —清原地区をモデルとして—

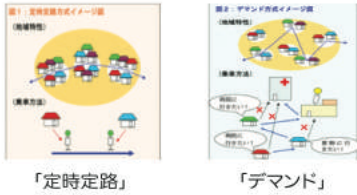
1. 宇都宮市内交通現状&課題



- 鉄道やバスのサービス水準の低下で、公共交通の利用者は全体的に減少している
- 公共交通空白・不便の地域がある

2. 地域内交通の現状&課題

地域内交通の方式:



地域内交通の現状:

現在宇都宮市における、13地区
15路線で地域内交通を運行している。
清原地区と雀宮地区は地域内
交通を導入検討地区で、
まだ全地区にカバーしていない。

地域内交通の課題:

- 地域内にしか使えない
- サービスが良くない。
事前に予約してから、予約の時間を守らない場合がある
- 相乗りサービス、時間がかかる

3. 中国配車アプリの紹介

ディディなぜ中国に普及したのか?

- 1.ディディが成立する前に、多くの財団のベンチャーキャピタル。
- 2.ディディアプリが運営始めるとき、特別なキャンペーンを実施した。
- 3.ディディ会社の運営元では従来のタクシー会社より安い。
ディディ会社が会社の実体を持っていない、
多くのドライバーが専門のドライバーではない。
ということで、ディディ会社はタクシー会社のような人件費がかからない。
- 4. 社会資源を十分に利用できる。
ディディのドライバーは専門士ではなく、でも、
ディディ会社が幾つもの条件3を満足すれば、
すぐにディディのドライバーになれる。
そして、ディディのドライバーはディディの運転 事業を副業として、
空いている時にディディの事業をやる。

中国配車アプリの紹介—ディディのサービス



ディディの課題

- ディディは幾つもの犯罪事件が発生したので、
中国の世論はディディ会社に厳しく非難される。
ディディ会社はすぐに配車アプリの安全性について、
いくつかの施策を出した。
- 1.ワンボタンアラーム、アプリのページには、
乗客の現在位置とドライバー情報を表示する。
ディディは事前に緊急連絡先を設定することをお勧めする。
移動する情報はプラットフォームを介して、
緊急事態が発生する場合で緊急連絡先にSOSで送信され電話をかける。
 - 2.ドライバーの背景審査、ドライバーにとっては、何の犯罪記録がないのが必要である。
戸籍ポリシー、ライセンス、ホイールベース、変位、価格、
車両の長さや幅の車についてさまざまな要件を審査する。
 - 3.セキュリティ対応。犯罪を取り締まるために、関係当局の指導の下に、
全社に安全性の訓練と学習を行う。そして警察と協力を継続するために、
集中的にセキュリティを強化する。
 - 4.車内ビデオを設置する。

4. 清原地区をモデルとして、ディディ配車アプリを運用する

①活動拠点多い



②大きな産業拠点がある



③訪ねる人が多い

多くの流動人口と地域住民の都市活動をもっとやさしく支えるため、
その交通アクセスの利便性向上することを目指す。

配車アプリの導入

